

溶剤系1液湿気硬化型ポリウレタン樹脂

ボウ<u>ニー テックス</u>

BOUJINTEX KYOUKA SEALER

新打設および劣化したモルタル・コンクリート内部によく浸透し、下地に密着する下塗り材です。

- 1. モルタル・コンクリート面への下塗り塗料
- 2. 浸透が必要な劣化したモルタル・コンクリート面

幅広い上塗り適合性 ボウジンテックス #1000、#2000、#5000Uの下塗り材

新打設モルタル・コンクリートはもちろん、古いモルタル・コンクリート面も浸透・密着します。 優れた密着性

●ボウジンテックス # 5000U が上塗りの場合

I	- ;	程	使用材料	希釈率	塗装方法	塗回数	塗付量	塗面積	可使時間		間隔(23	
-		'-	12/13/13/11	113-17 (1	1 22/5/2	(回)	(kg/㎡/回)	(㎡/缶セット)	(23°C)	工程内	工程間	歩行可能
素	新打設のコンクリート面では、夏季 30 日以上、冬季 40 日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季 14 日以上、冬季 20 日以上)、 表面層の水分率 5% 以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず 地調整 ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モル タル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等 は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。											
下	塗	り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg	0~10% #5000Uシンナー	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	_	_	4h以上 24h以内	_
- 上	_塗	り	ボウジンテックス # 5000U 主剤 15kg 硬化剤 2kg	10~20% #5000Uシンナー	ハケ ローラー	2	0.14~0.17	50~61	6h以内	1h以上	_	8h以上 完全硬化2日以上
●ボウジンテックス # 2000 が上塗りの場合												
<u> </u>	_塗	Ŋ	ボウジンテックス # 2000 主剤 12kg 硬化剤 4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	2	0.16~0.2	40~50	4h以内	6h以上	_	16h以上 完全硬化2日以上
●ボウジンテックス # 1000 が上塗りの場合												
<u> </u>	_塗	Ŋ	ボウジンテックス # 1000 15kg	60~90% #1000シンナー	ハケ ローラー	2	0.11~0.14	54~68	_	1h以上	_	4h以上 完全硬化1日以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

ボウジンテックス 強化シーラー 16kg • 4kg ボウジンテックス #5000Uシンナー 16L • 4L

- 炎天下で塗装しますと層間剥離を起こす可能性がありますので施工を避けてください。
 夏場 (気温の高い場合) に塗装する場合は、ボウジンテックス 強化シーラー乾燥後、できるだけ早く(必ず当日に)上塗りを塗装してください。
 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
 吸い込みのない旧塗膜に上塗り「ボウジンテックス # 2000」を塗装する際は、強化シーラーを0.1kg/㎡以下で塗装してください。また、換気が不充分な場合や低湿度の場合、上塗り「ボウジンテックス # 2000」塗装時にリフティングを生じる恐れがあります。
 使用前には充分撹拌してください。
 2次型塗料は、気温が高い場合を端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
 布工時またが施工を2分において、充分な物気を行ってください。

- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。 施工時には火気厳禁、また溶剤中毒に充分で注意ください。 換気が不充分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。

- 材料の保管・取り扱いは消防法、労働安全衛生法に充分な管理をお願いします。
- 化学物質過敏症の人は塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、 充分ご注意ください。
- 12. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。 13. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

